

第18回 金沢自転車ネットワーク協議会 議事概要

日時：平成30年8月1日（水）10：00～

場所：国土交通省 金沢河川国道事務所 2階会議室

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 規約の改定
4. 議 事
 - (1) これまでの取組と今年度の取組予定
 - (2) (仮称) 金沢の自転車施策に関する10年のあゆみ
 - (3) 第8回金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会
 - (4) 今後の予定
5. 閉 会

議 事 要 旨

■規約の改定

◎金沢自転車事故対策研究会の設置に係る、規約の改定内容について了承を得た。

■(仮称) 金沢の自転車施策に関する10年のあゆみ

◎10年誌は、単に10年を振り返るものではなく、これからの10年につながるようなものにし、他の自治体の参考になるものにしていきたい。

◎「連携」「調査」「ガイドライン」「ネットワーク」「フォローアップ」の5つのポイントは、協議会の特徴を的確に示している。

◎中学校や高校への10年誌配布と合わせて、協議会で作成した自転車ルールチラシ等も配布してほしい。

◎10年誌の配布先に小学校も追加してほしい。

■その他

◎今後県や市が自治体版の自転車活用推進計画が策定する際に、協議会の役割を検討していく必要がある。

→協議会の役割について事務局で協議し、次回協議会で報告する。

【第 18 回金沢自転車ネットワーク協議会の様子】



委員名簿

分類	所属・氏名	出欠
学識者	金沢大学 教授 高山 純一	出席
	北陸大学 名誉教授 三国 千秋	出席
	地球の友・金沢 三国 成子 (内閣府 第9・10次中央交通安全対策会議専門委員)	出席
警察	石川県警察本部 交通部 交通企画課長 久島 泰志	代理出席 (笠師 交通調査官)
	石川県警察本部 交通部 交通規制課長 端 岩男	代理出席 (中川 次席) (随行：時枝規制係長)
	金沢中警察署 交通官 畑 毅	出席
	金沢東警察署 地域交通官 金谷 悦也	出席
	金沢西警察署 地域交通官 山崎 育也	出席
行政関係	国土交通省 金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 中田 光	出席
	石川県 土木部 道路整備課長 中村 博昭	代理出席 (佐野 専門員)
	石川県 土木部 都市計画課長 鈴見 裕司	代理出席 (前田 課長補佐)
	石川県 県央土木総合事務所 維持管理課長 吉元 研司	出席 (随行：廣田 係長)
	金沢市 都市政策局 交通政策部 歩ける環境推進課長 安宅 英一	出席 (随行：西 主査)
	金沢市 土木局 道路管理課長 坂本 敦志	代理出席 (西村 室長)
オブザーバー	白山市 建設部 土木課 課長 亥上 明玉	代理出席 (山岸 主幹)
	野々市市 土木部 建設課 課長 浅野 昇	代理出席 (西村 係長) (随行：長岡 技師)
	津幡町 産業建設部 都市建設課 課長 酒井 英志	出席
	内灘町 町民福祉部 環境安全課 課長 本 郁夫	欠席

※ ※敬称略

議 事 概 要

○各委員、●事務局

■開会

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 川原課長）

定刻となりましたので、ただいまより第18回金沢自転車ネットワーク協議会を開催いたします。本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

私は事務局を担当しております、国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課長の川原でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、開会にあたりまして、高山会長よりご挨拶をお願い致します。

■会長挨拶

○金沢大学教授 高山会長

金沢で自転車通行環境整備が進められてから概ね10年が経過し、道路管理者・交通管理者の努力により、完全なものまでできていないが、昔に比べれば自転車はずいぶん走りやすくなったと感じています。

先般、金沢大学前の道路も一部区間で自転車走行指導帯が整備され、大分自転車ルールも守られているようです。しかし、帰宅の時間帯には注意が必要であり、引き続きルールの指導を徹底いただきたいと思います。着実に自転車通行環境整備は進んでいるため、各道路管理者・交通管理者の皆様には、引き続き尽力いただければと思います。

■規約の改定

○事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 川原課長）

本日の議事に入る前に、協議会の「規約の改定」について事務局よりご説明させていただきます。

第6条（会議等）において、「会長は、第2条の目的達成に資する協議会以外の会議や研究会（分科会）、・・・、必要に応じて行うことができる。」としています。これは、先月13日に第1回を開催した「金沢自転車事故対策研究会」を、協議会の目的達成に資する研究会として位置づけるためのものです。研究会での議論や成果は、適宜協議会で共有させていただきます、効果的な事故対策の実施や自転車関連事故の減少につなげていければと考えています。

この規約の改定について、委員の皆様からご意見があればお願いします。

○委員一同

一同了承。

○事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 川原課長）

それでは、事務局の提案内容で規約を改定させていただきます。

■これまでの取組と今年度の取組予定

○地球の友・金沢 三国成子委員

資料1のP15にグリーンラインとあるが、具体的にどのような整備を予定しているのですか。森本小学校では、通学路に緑のラインが整備されているが、金沢学院高校前の県道も犀川小学校の通学路になっているのですか。

○石川県県央土木総合事務所 廣田係長

グリーンラインは、路側帯に30cm幅の緑色のラインを設置することで、歩行者の安全性を向上させるものです。グリーンラインの整備箇所は、通学路に限定するものではないため、歩行者全般を守る取り組みとして整備を予定しています。

○石川県道路整備課 佐野専門員

金沢市の方に質問だが、犀川大通りににおける自転車通行空間の整備予定について、現時点でわかっているならば教えていただきたいと思います。

○金沢市歩ける環境推進課 安宅課長

現在のところ整備の予定はありません。

○金沢市道路管理課 西村室長

犀川大通りでは、都市計画道路の事業として、一部拡幅整備を行っている。永安町交差点付近でも、時期は未定であるが、拡幅を予定している。

○金沢大学教授 高山会長

もし計画がなければ、是非計画を作っていただきたい。

○北陸大学 三国千秋名誉教授

金沢自転車事故対策研究会の設立について補足すると、これまで減少傾向が続いていた自転車事故が、H28年に微増したことをきっかけに、何かしら対策を講じなければと感じ、設立を提案しました。

個人的には、自転車事故を分析するのは10年ぶりであるが、当時は金沢市内で約700件の事故が発生していました。それを考えると現在は231件ということで、急激に減っていると感じています。全国的にも自転車事故は減っているが、金沢では減少が顕著になっている

ます。

金沢自転車ネットワーク協議会では、議論に時間的な制約もあるため、自転車事故に特化した議論をしたいということで研究会を設立しており、年度末には協議会に経過を報告したいと考えています。

また、自転車通行空間整備では、ハード面の対策と同時に、住民と一緒に検討していく中で、フォローアップしていくことが重要です。その結果を協議会で報告し、成果を共有していくことが重要と感じています。金沢自転車ネットワーク協議会の取組は、全国的にも珍しいため、これからも続けていければと感じています。

○地球の友・金沢 三国成子

先週の日曜日に、東京から金沢の自転車施策について視察に来られました。インターネットでいろいろと金沢の取組を調べられていたようであるが、実際に金沢に来て、走ってみると、自転車通行空間が整備されていることによる安心感に感動したという言葉いただきました。皆様のこれまでの努力を評価いただいたと感じたため、ご紹介させていただきました。

○金沢大学教授 高山会長

資料 1 P9 の年代別人口千人当たりの自転車事故人数については、金沢市内の人口に限定して集計しているのですか。金沢市内の高校には、津幡町などの市外からも生徒が集まるため、人口の母数をどのようにして設定しているのかを確認できればと思います。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 谷内上専門官）

住民基本台帳のデータから、金沢市内に限定した年代別の人口を集計して母数としています。

■（仮称）金沢の自転車施策に関する 10 年のあゆみ

○北陸大学 三国千秋名誉教授

これまで、新潟などで昔の担当の方にインタビューをしていく中で、この 10 年誌は単に 10 年を振り返るものではなく、これからの 10 年につながるようなものにし、他の自治体の参考になるものにしていきたいと感じたところです。

金沢の自転車施策に関して、10 年間継続的に関わってきている行政担当者はいないと思います。行政担当者は 2 年～3 年で代わっており、その時期によって課題は違っていると思います。金沢の自転車施策が 10 年間続いてきたのは、担当者間の引き継ぎが上手く行われてきたからであり、協議会があったから、そのような引き継ぎが行われてきたのだと感じています。

概要版の構成案で示されている、「連携」「調査」「ガイドライン」「ネットワーク」「フォローアップ」の5つのポイントは、協議会の特徴を的確に示しているキーワードだと感じています。

8/25（土）に開催予定の勉強会の第2部では、パネルディスカッションを行う予定です。その中で、かつて自転車施策に携わった方をパネリストにお招きし、10年を振り返りたいと考えているため、パネリスト以外に過去に携わられた方にも是非勉強会に参加いただきたいと思います。

○地球の友・金沢 三国成子

今回の10年誌の制作は全国的にも注目されています。自転車活用推進法が施行され、「連携」が重要なキーワードとされている中で、10年誌は思い出をただまとめた記念誌ではなく、これからにつながるものになればと感じています。

○石川県県央土木総合事務所 吉元課長

配布先に中学高校とあるが、10年誌と合わせて、協議会で作成した自転車ルールチラシ等も配布いただければと思います。

○地球の友・金沢 三国成子

10年誌の配布先に小学校が入っていません。せせらぎ通りの自転車走行指導帯整備では、中央小学校にもご協力いただいております、小学生に自転車ルールを周知する意味でも、小学校にも配布いただきたいと思います。

○北陸大学 三国千秋名誉教授

10年誌の概要版だけでも良いので幅広く関係者に配布いただければと思います。

■第8回金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会

○北陸大学 三国千秋名誉教授

このような自転車に関する勉強会も全国ではなかなか開催されていないと思います。

最近では、自転車を観光に利用するなど、自転車の利用が多岐にわたってきており、ハード面に関わる土木系の担当者だけでなく、環境系の部署などとも連携していくべきだと思います。もし、担当課以外に興味がある方がいれば、是非ご案内いただければと思います。

○金沢大学教授 高山会長

今年4月から私の所属が変更になったため、「環境デザイン学系」を「地球社会基盤学系」に変更をお願いします。

今回のパネルディスカッションのようなメンバーで話す機会もなかなかないため、非常に楽しみにしています。

■今後の予定

特に意見なし

■その他

○金沢市歩ける環境推進課 安宅課長

自転車活用推進計画が策定され、今後県や市が自治体版の自転車活用推進計画が策定することになると思われるが、金沢自転車ネットワーク協議会がその計画づくりにどのように関わってくるのかを検討していく必要があると感じています。

金沢市としても、現在の計画をベースとして、環境や健康や経済面などの視点も踏まえた見直しを行っていきたいと考えているため、現段階の考えを教えていただければと思います。

○金沢大学教授 高山会長

これまでの協議会の役割は、自転車通行空間整備や自転車ルールの周知がメインのテーマであったが、自転車活用推進法に示されるように、環境や観光面などの視点を踏まえて協議会で議論していくのか、もしくは、協議会の下部組織として、新たな組織を作り検討を進めるのか、いろいろと方法はあると思います。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 川原課長）

自治体版の自転車活用推進計画の策定にあたっては、関係者が多岐にわたるため、どのような組織で検討をし、協議会との関わりをどのようにしていくのか、今後事務局でも協議していきたいと思います。次回の協議会までに方向性を報告させていただければと思います。

○地球の友・金沢 三国成子

10月に開催される自転車利用環境向上会議 in 堺の分科会では、自治体版自転車活用推進計画策定のお悩み相談の分科会も開催するため、是非参加いただければと思います。

○金沢大学教授 高山会長

非常に大きな話であるため、事務局でじっくりと考えていただければと思います。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 川原課長）

次回の協議会は来年の2月頃を予定しています。改めて事前にご案内するため、ご参加いただければと思います。

－以上－